

3-6

ニーズとやりがいの充実に向けた外出ケアの組み立て

利用者個人のニーズにあったケアの実施

外出レク

ゆとりケア

特別養護老人ホーム 東京敬寿園

ケアワーカー 野平 公章

ケアワーカー 木内 徹也

東京都世田谷区上祖師谷7-1-1

ケアマネジャー 水倉 晋弥

TEL: 03-5313-0008

E-mail: t-keijuen3@2.dion.ne.jp

FAX: 03-3308-0303

URL: <http://www.keijuen.or.jp/tokyo/about.html>

今回の発表の施設
またはサービスの
概要

社会福祉法人敬寿会が母体である東京敬寿園は平成15年5月に開設。特養76床、ショートステイ4床、デイサービス、居宅介護支援事業所を併設。

〈取り組んだ課題〉

○利用者の思い

- ・ 利用者から「外の空気を吸いたい」「買い物をしたい」という要望が、多くでていた。

○職員の思い

- ・ 1対1で利用者と接し、『利用者がしたいこと』を行えるようにしてあげたい。
- ・ 利用者の生活がより活性化するため、外出の機会を増やしたい。

○取り組み

- ・ 限られた職員数、不可欠な業務により、外出にあてる時間は多く持てないが、利用者の思いに応えるため、職員の勤務、業務を調整し、外出機会を増やす。

〈具体的な取り組み〉

○意識の変化

- ・ 外出が目的だと散歩になってしまうが、目的意識を持って外出することで外出ケアに変わる。

○実施内容

- ・ 目的別に外出ケアの種類を増やす。
- ・ 職員の勤務、業務を調整し、短時間でも機会を作る。
- ・ 何処へ行きたい？何がしたい？利用者ニーズの把握
- ・ 年・月・日・時間単位で計画し準備を行う。

○実施

- ・ 外出レク（月2回）：都庁、東京競馬場、カラオケ、回転寿司など
- ・ ゆとりケア（月2回）：自宅へ帰宅、買物、散歩など
- ・ ミニ外出（週1～2回）：コンビニ、喫茶店、公園など

〈活動の成果と評価〉

○利用者

- ・ 利用者からの「外に出たい」との要望に応えることができた。「また行ってみたい」との声も聞かれ、楽しみができ、生活が活性化した。
- ・ 買い物で好きなものを購入し、外出後の楽しみにもつながった。

○職員・施設

- ・ 利用者と1対1でのケアで、より近く接することができたことと利用者の喜びの笑顔が、職員の仕事のやりがいにつながった。
- ・ 個別ニーズの把握により個々にあった余暇活動を提供することができた。
- ・ 事前に担当者を決める事により綿密な計画を立てることができた。

〈今後の課題〉

- ・ 利用者ニーズの更なる発掘。
- ・ 重介護者の方の外出レクリエーションの機会を増やす。
- ・ より安全な外出ができるように緊急時のマニュアルを作成。
- ・ 業務時間のなかで無理なく実施するため、職員の確保。
- ・ 家族の参加を推進する。
- ・ より綿密な計画の作成、内容の充実。本人の希望する遠方や普段いけないようなところにも外出できるようにしていきたい。